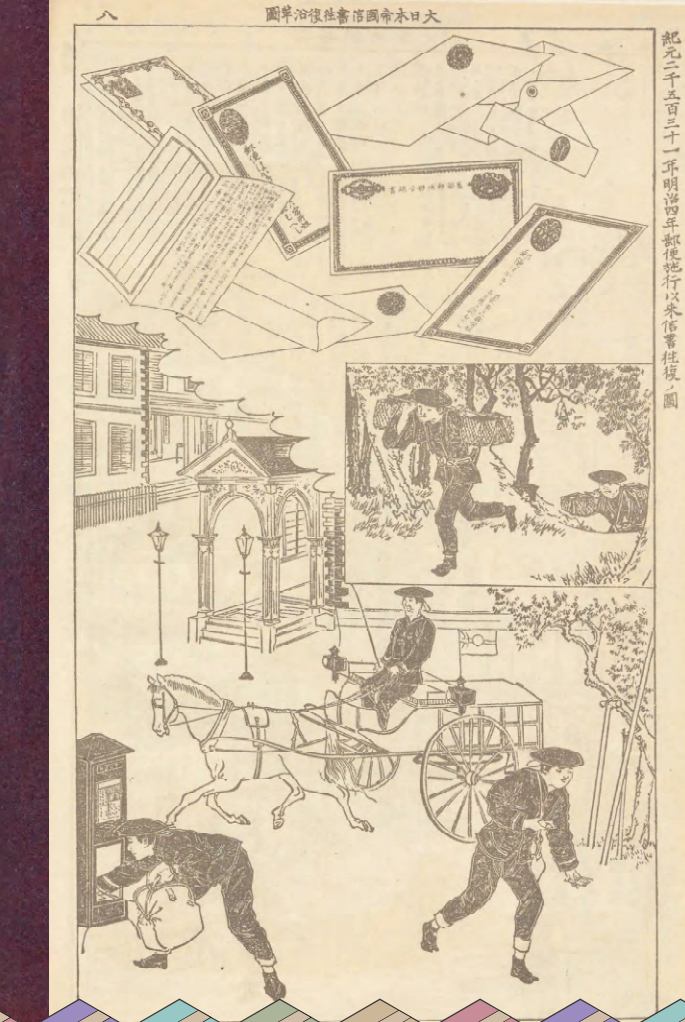
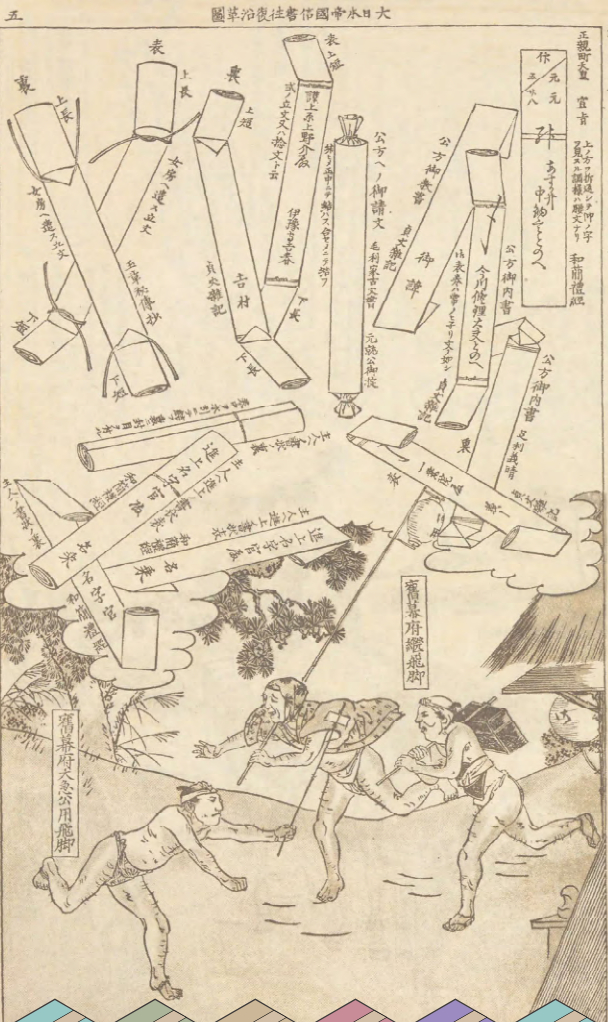




第 35 回国立国会図書館関西館資料展示

お届けものです！



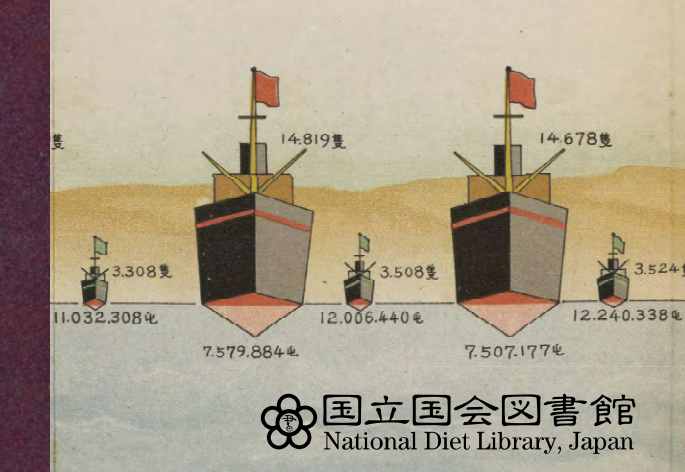
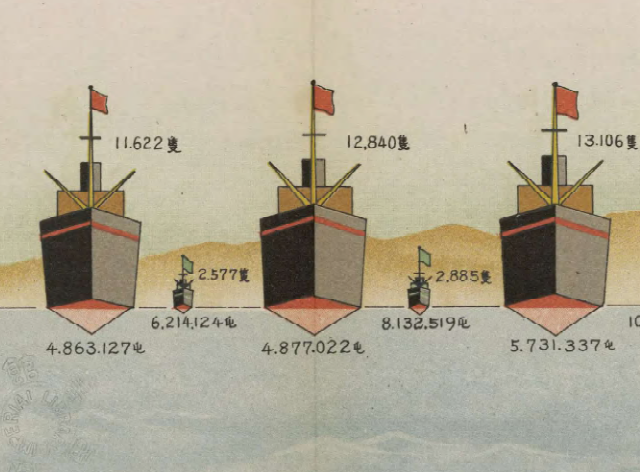
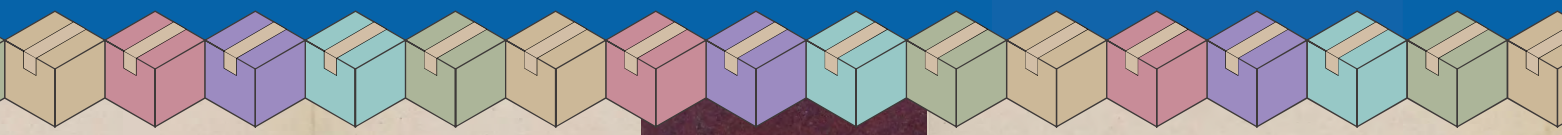
～モノと情報の輸送史～

令和8年 2月19日 (木) >> 3月17日 (火)

開館時間：9:30～18:00 (日祝休館)

会場：国立国会図書館関西館 閲覧室

○入場無料・年齢制限なし○





展示内容と構成

私たちの暮らしは、モノや情報が運ばれることによって成り立っています。それらを運ぶ手段は、古くは人力や家畜を利用したものから始まり、中世の水運、江戸時代の廻船、そして近代以降は鉄道や自動車など、時代とともに発展してきました。

本展示では、古代から現代に至るまでの、モノや情報の輸送の変遷をご紹介します。

どんな輸送手段が日本にはあったのか？モノや情報の輸送によって世の中はどのように変わってきたのか？魅力あふれる輸送の歴史をお届けします！

◆物流とは、輸送とは

『新・ロジスティクスの歴史物語：江戸から令和まで』苦瀬博仁 著・白桃書房、2022.8

◆人や船で運ぶ

『鴻爪痕』前島密 著ほか・前島弥、大正9

『中世瀬戸内の流通と交流』柴垣勇夫 編・塙書房、2005.12

◆輸送の近代化

『写真でみる貨物鉄道百三十年』日本貨物鉄道、2007.10

『宅扱：昭和はじめの宅配便』物流博物館 編・利用運送振興会、2003.4

◆輸送の現在

『ネット通販時代の宅配便』林克彦、根本敏則 編・成山堂書店、2015.7



関連講演会

「中世瀬戸内海東部の海運・水運とその拠点 一兵庫・尼崎・淀一」

講師：綿貫 友子（わたぬき ともこ）

神戸大学大学院経済学研究科経済学専攻教授

日時：令和8年3月7日（土）14:00～15:30

※講演会終了後、当館職員による資料展示の説明があります（約15分）。

会場：国立国会図書館関西館第1研修室

参加方法：事前申込制（定員70名、先着順）

ウェブページからお申し込みください。

https://www.ndl.go.jp/event/events/kansai_20260307



講師略歴

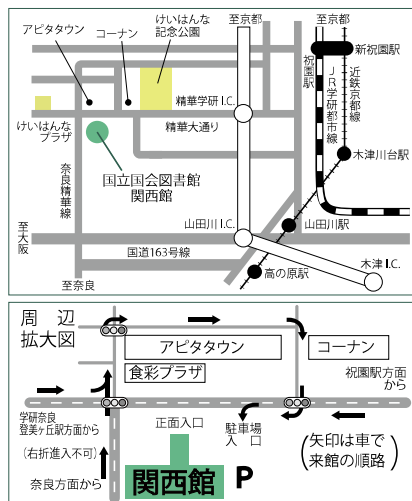
東北大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士（文学）。大阪教育大学教育学部助教授、同教授を経て現職。主な著書に『中世東国の太平洋海運』（東京大学出版会、1998）、『中世日本海の流通と港町』（共編、清文堂出版、2015）、『中世の貿易』『岩波講座日本経済の歴史・1』（岩波書店、2017）がある。



アクセス

▶JR 学研都市線祝園駅、近鉄京都線新祝園駅から奈良交通バス「国立国会図書館」下車

▶近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅から奈良交通バス「国立国会図書館」下車



お問い合わせ

国立国会図書館関西館 資料案内
0774-98-1341
（対応時間 9:30～17:00）



国立国会図書館 HP
「イベント・展示会情報」
<https://www.ndl.go.jp/event>

